

2012年1月10日開催 第564回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員(書面) 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役
山田編成部長 池崎プロデューサー 立野コンプライアンス室長

- ◆ MBSとCBCの開局60周年企画として共同制作した番組「チンパンジーが教えてくれる希望の秘密」(2012年1月3日(火)8:00~8:54放送)について審議した。

各委員の主な意見は次の通り。

- *お正月の朝の番組で、何か余計なものを入れざるを得なくなった。ときどき横にそれてしまったことで、大きな芯が途中で何度かぶれた感じがした。
- *教養番組を一般の人にどう理解してもらおうのかを考えると、よくできた構成だった。非常にわかりやすいけれども、もう少し厳密な議論が必要。
- *チンパンジーを通して人間を見つめる作業から、人間のこれから進む方向性を語っていたので、非常に新鮮みを感じた。
- *霊長類研究所はサイエンスとしてアプローチしているので、番組として性急に結論づけることに、唐突さを感じた。人類とチンパンジー全体という比較は無理がある。
- *深く突っ込んだ番組なので、もう一步深いところを知りたくなる。ただ、持っているとする結論のところ少し気になる。
- *サイエンスと言っていながら、番組にするとときに情緒が入ってくる。そこのバランスが非常に難しいと、考えさせられる番組だった。
- *正月三が日に、幼い子どもから大人までそろって楽しめる好企画の番組であった。生きるヒントをいくつかもらえる番組だ。
- *希望という言葉に意外性があり見たいという気になった。希望に至る謎解きの過程を丁寧に追う組み立てが、好奇心を刺激している。

◆ 報告事項

昨年11月25日に松山で開催された「第19回JNN系列番組審議会・近畿中四国地区協議会」の概要について、委員長が報告した。

以上